

R5年度 家庭教育充実研修会実践発表

令和5年度 星峯西小学校PTA
学校, 家庭, 地域が連携し,
「生きる力」を育むPTA活動
～「家庭教育力アップ共通実践事項」
R3.7月からR5.12月までの取組について～

令和5年12月9日(土)
鹿児島市立星峯西小学校
発表者 〇〇〇〇

(札) これから, 星峯西小PTAの実践の概要について発表します。この取組はR3.7月からスタートしましたが, その当時はコロナ感染症がたいへん流行しており, PTA授業参観や学級PTAも例年通り開催できず, 取組もなかなか難しい状況でしたが, そんななかでの2年5か月の取組を発表します。(クリック)

学校及びPTAの概要

本校の歴史、児童数、学級数、PTA戸数等

創立	43年目
児童数	547名
学級数	24学級
教職員数	51名
P世帯数	417戸
校区	12地区
校訓	「かしこく なかよく たくましく」

急激な少子化の波がや
ってきている。

本校は、(クリック2)

今年で創立43年目を迎え、児童数547名、学級数24学級、教職員数51名、PTA戸数417戸、校区は12地区、

からなる学校です。校訓は「かしこく、なかよく、たくましく」です。現在、急激な少子化の波がやってきていて、毎年**5,60名**ずつ減少していき、**5**年後には児童数が**36**5名になる見込みです。(クリック)

家庭教育力アップ共通実践事項
をどのようにして設定したのか？

家庭教育力アップ 共通実践事項の取組とは

まずは研究テーマにある「家庭教育力アップ共通実践事項」とはどのような取組で、どのような考え方で設定したのか、その手順などを説明したあとに、具体的な取組を紹介していきます。(クリック)

本校PTA活動研究テーマの設定について

鹿児島市PTA連合会努力目標

生涯学習の観点に立ち、活力ある健全な児童・生徒を育成するため、**家庭・学校・地域との緊密な連携**を図りながら、**共に学び実践するPTA**を目指す。

学校の教育課題

学力低下、いじめ、不登校、問題行動、ネット依存、虐待、自死、けが、事故等

確かな学力、教育の情報化、人間関係の希薄化、社会性の欠如、健康・体力・安全、学校における働き方等

本校PTAの課題

共働き世帯増加、役員負担感、子育ての悩み、進学、しつけ、児童虐待等

校区・地域の課題

少子高齢化、過疎化、地域担い手不足、伝統文化継承、防災等

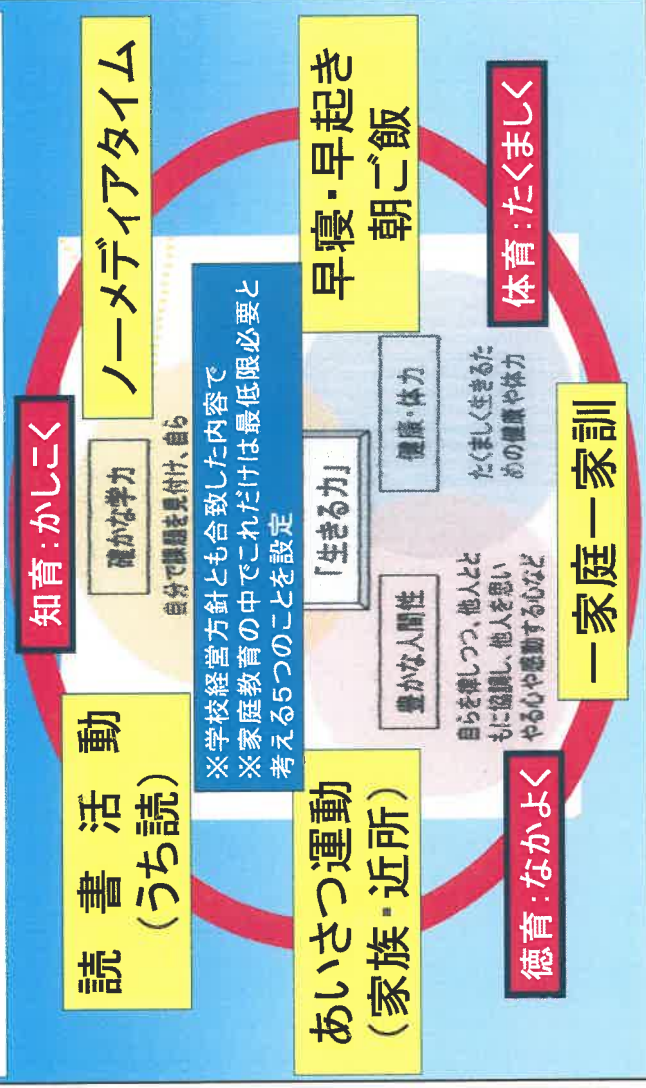
デジタル化

星峯西小学校PTA研究テーマ

学校、家庭、地域が連携し、「生きる力」を育むPTA活動
～**星峯西小学校 家庭教育力アップ共通実践事項の取組**～

私たちは、鹿児島市PTA連合会努力目標である「生涯学習の観点に立ち、活力ある児童・生徒を育成するため、家庭・学校・地域との緊密な連携を図りながら、ともに学び実践するPTAを目指す」を受けて、(クリック)学校の課題、PTAの課題、本校区・地域の課題などを基に「学校、家庭、地域が連携し『生きる力』を育むPTA活動」を研究テーマに、サブテーマを「星峯西小学校 家庭教育力アップ共通実践事項の取組」という研究テーマで取り組んできました。その概要について、これから説明していきます。(クリック)

学校、家庭、地域が連携し、「生きる力」を育むPTA活動
 ～家庭教育力アップ共通実践事項の取組～



「生きる力」には、知・徳・体の3つの側面があり、具体的には「確かな学力」、「豊かな人間性」、そして「健康・体力」から構成されています。これら3つの資質・能力をよりよく育てるために、学校経営方針とも合致して、PTA会員が全員で一緒に取り組んでいける「共通実践事項」を5項目設定しました。

具体的には、「あいさつ運動」「ノーメディアタイム」「家庭一家訓」「読書活動(うち読)」「早寝早起き朝ごはん」です。(クリック)

学校組織とPTA組織が連携した取組のイメージ

「生きる力」(知・徳・体)の育成

実践

【学校(校務分掌)組織】

- ◆ 学年部等
- ◆ 教科領域部等
- ◆ 教務部
 - ・教務、研修、教育方法、広報渉外、特別支援教育、人権同和教育
- ◆ 生徒指導部
 - ・生徒指導、教育相談、特別活動、読書指導
- ◆ 保健部
 - ・保健指導、安全指導、体育指導、給食指導、環境衛生、防火防災

【PTA共通実践事項】

- ① あいさつ運動
- ② 一家庭一家訓
- ③ ノーメディアタイム
- ④ 読書活動(うち読)
- ⑤ 早寝早起き朝ご飯

PとTとCが連携

【PTA組織】

- ◆ 三役・執行部
- ◆ PTA専門部活動
 - 事業部
 - 生活広報部
 - 保健体育部
- ◆ 学年部
 - 学年・学級PTA
 - ※ 家庭教育学級
 - ※ 家庭教育充実研修会
- ◆ 地域部
 - 地域PTA
- ◆ おやじの会

この図は、5つの共通実践事項をどのように取り組むかを示した図です。チーム星峯西小として組織的な取組にするために、学校の組織と、PTA組織(専門部活動、学級PTA活動、家庭教育学級、地域PTA、おやじの会など)が連携して取り組むことを表した図です。(クリック)

5 5つの共通実践事項とPTA組織を関連づけた具体的な取組方

【表1 表上の表より】

(1) これまで取り組んできている事業で共通実践事項に関連する活動は基本的に継続している。

学校組織 (教務分掌)	家庭教育力アップ共通実践事項	PTA組織
T: 生徒指導部 C: 生活委員会 (あいさつ運動)	① あいさつ運動	P: 三役、執行部が企画→各学年・学年へ依頼し、随書前々で実施、継続 P: 単体部「チャレンジ、メディア・コントロール」実施、継続 P: 各家庭で手伝いやきまりの時間を つくり、実施 P: 各家庭で読書の時間をつくり、実施。 C: 地域ボランティアグループが実施、継続 P: 各家庭で早寝早起き朝ごはんのきまりを親子でつくり、実施。 ＊学校保健委員会
T: 生徒指導 (不登校等の対応) 情報教育 (インターネット関連等) C:	② ノーメディア	
T: 生徒指導部 C: 6年生朝のボランティア活動	③ 一家庭一家庭	
T: 生徒指導部 (読書指導係、副読) C: 図書委員会 (随書前々、随書祭り)	④ 読書活動 (うち読)	
T: 保健部 (体育指導係、保健指導係、給食指導係) C: 体育委員会 (体力づくり) 保健委員会 (健康観察配り) 給食委員会 (給食放送呼びかけ)	⑤ 早寝早起き朝ごはん	

- ・共通実践事項はこれまでの取組を可能な限り生かすようにする。
- ・PTA活動は3学期制→2学期制(2サイクル)を導入
- ・可能な限りデジタル化を推進することにより、PTA業務の負担軽減、業務の簡素化、効率化を図れるようにする。

これは、5つの共通実践事項(「あいさつ運動」「ノーメディアタイム」「一家庭一家庭訓」「読書活動(うち読)」「早寝早起き朝ごはん)をそれぞれの組織が分担して取り組むことを表しています。その際に、新しい業務を加えるのではなく、可能な限りこれまで取り組んでいたことを生かすこと、PTA活動のサイクルを3学期制から2学期制に変えて取り組みやすくすること、業務の効率化や簡素化を図るためデジタル化できるものは手作業ではなくデジタルを活用して取り組んでいくとに留意して取り組んできました。(クリック)

家庭教育力アップ共通実践事項を
どのように取り組んでいくか？
1年間2サイクル(P→D→C→A)

具体的な取組の流れ

P: 第1回学級PTAで目標設定

D: 各家庭で実践

C: 取組状況を学校評価アンケートで
調査、集約

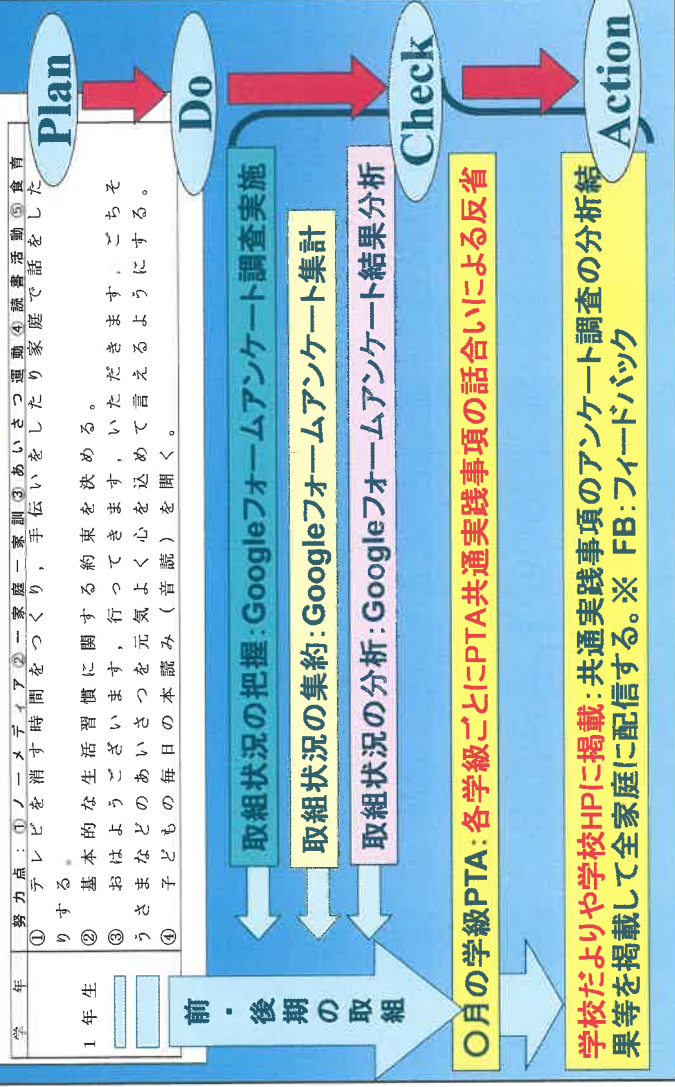
第2回学級PTAで協議・情報交換

A: 改善策を立てて後期を取り組む

次に具体的な取組の流れについて説明します。PDCA(計画、実行、評価、改善策)という流れに沿って進めていきました。具体的に説明します。(クリック)

学級PTA活動の取組状況の把握・分析とFB

第1回学級PTA:各学級・学年ごとにPTA共通実践事項の努力点の設定



これは(クリック)4月の第1回目の学級PTAで設定した努力点です。十分に話し合う時間もなく、具体的な目標を立てて取り組むことになりました。

取り組む中で(クリック)アンケート調査を実施し、(クリック)その結果を集約し、(クリック)その結果を分析していくようにしました。

(クリック)その調査結果を基に前・後期末の学級PTAで話し合い活動を行う予定でしたが、実際には学級PTAが開けなかったため、学校HPにその結果を掲載して全保護者にフィードバックしました。(クリック)

【学級PTA】学級PTAが開催されました。

2023年04月12日～14日



4月12日(水)～14日(金)学級PTAを開催。学級担任と保護者が対面する初めての機会です。担任の自己紹介、学級経営方針の説明、生活・学習指導関係のきまりの確認などを行い、**家庭教育力アップPTA共通実践事項に係る家庭用揭示用紙の配布、取組の説明**などが行われて、最後に学級PTA役員を決めていきました。



この写真は、今年度最初の学級PTAの様子です。4月12日(水)～14日(金)に開催しました。学級担任と保護者が対面する初めての機会です。担任の自己紹介、学級経営方針の説明、生活・学習指導関係のきまりの確認などを行い、**家庭教育力アップPTA共通実践事項に係る家庭用揭示用紙の配布、取組の説明**などを決めていきました。(クリック)

【9月学級PTA】学級PTAで家庭教育力アップ共通実践事項の取組について話し合いました。

2023年09月15日

この写真は、今年度9月の学級PTAの様子です。9月15日(金)に全学年で学級PTAを開催。家庭教育力アップPTA共通実践事項の前期分の取組結果を基にして少人数でのグループ討議を行いました。(クリック)

R4年度最後のPTAでR4年度の取組結果の報告を
しました。(学級委員長さんから) R5.2月28日～3月2日



5つの共通実践事項については、年2回実施状況をGoogleフォームで把握・集計してその結果を学級PTAでフィードバックしています。

この写真は、昨年度の後期最後の学級PTAの様子です。5つの共通実践事項については、年2回実施状況をGoogleフォームで把握・集計してその結果を学級PTAでフィードバックしています。このようにPDCAのサイクルによって取組の充実を図っています。(クリック)

家庭教育力アップ共通実践事項設定の仕方(例)

※学年に応じた遅くとも午後10時まで就寝 ※午前6時から7時までの時間帯で起床時間を設定する。

我が家のPTA共通実践事項

⑤ 早寝・早起き・朝ご飯
早寝 時・早起き 時

④ 読書活動(うち読二〇分)

③ ノーメディアタイム
(時～時・時間)

② 一家庭一家訓(手伝い等)

① 進んであいさつ(学校・家庭・地域)をしよう。

児童氏名 年



※曜日を設定せず毎日、継続して取り組めるように、時間帯(19:00～20:30)や時間(1時間30分)などで設定するようにする。

※家庭でのお手伝いを中心にルールやきまりなどを設定する。できるだけ肯定的な文で設定する。(例)「お風呂そうじを毎日する。」

これは、各家庭で共通実践事項について話し合って決めたことを記入するための記入用紙です。(クリック)

家庭掲示用：PTA共通実践事項設定の仕方(例)

家庭の教育力アップ共通実践事項

鹿兒島市立豊葦西小学校

() ねん () ぐみ 番号え ()

① 専らんであいさつ (がっこう・かてい・ちいき)

② 一家庭一家庭(お手伝い等)

③ ノータイムタイム (〇時〜〇時まで)

④ 読書活動 (うち読書)

⑤ 早寝・早起・朝ごはん
早寝 () 時 早起 () 時

家庭の教育力アップ共通実践事項

家庭掲示用 中・高学年用

児童氏名 [] 年 [] 組 []

① 専らんであいさつ (がっこう・かてい・ちいき)

② 一家庭一家庭(お手伝い等)

③ ノータイムタイム
時 [] 時 [] 時 []

④ 読書活動 (うち読書) 〇分 []

⑤ 早寝・早起・朝ごはん
早寝 [] 時 [] 早起 [] 時 []

実効性があり、継続した取組にするために、

この用紙をテレビの横など、よく見えるところに掲示して、時間になったら保護者が子どもに声かけができる環境をつくる。

これも、各家庭で共通実践事項について話し合って決めたことを記入するための記入用紙です。継続した取組にするために家のよく見えるところに掲示して保護者が声かけをするように心がけました。(クリック)

家庭教育力アップ共通実践事項 の具体的な取組とは？

- ①あいさつ運動(家庭・近所)
- ②一家庭一家訓
- ③ノーマデイアタイム
- ④読書活動(うち読)
- ⑤早寝早起朝ご飯

それでは、それぞれの取組について写真も交えながら紹介します(クリック)

【共通実践事項の具体的取組】

① あいさつ運動



PTAではこれまで輪番制で保護者のあいさつ運動に取り組んできました。

連携



学校正門前での生活委員会、児童会による朝のあいさつ運動

これは朝のあいさつ運動の様子です。あいさつ運動は家族や近所の方に自分から進んで行うという取組です。左側の写真は保護者が学期始めに輪番制で子どもたちに正門や裏門で挨拶運動に参加している様子です。また、右写真のように校長先生や生活委員会の子どもたちがあいさつ運動を行っている様子です。家庭と学校が連携を図った取組をしているお陰で子どもたちは笑顔が増えて、元気よくあいさつするようになってきています。(クリック)

【あいさつ運動】学校と家庭が連携した「あいさつ運動」「交通安全指導」+おやじの会



おやじの会も参加・協力(通学路点検・あいさつ運動)(毎月第2土)

朝の時間帯に保護者の方々が輪番制で通学路の各箇所に立って交通安全指導とあいさつ運動をしてくださっています。各家庭でも「家庭教育力アップPTA共通実践事項」の一つとして家族内での「あいさつ運動」に取り組んでいます。R4,9月からは「おやじの会」とも連携して取り組み始めました。

上の写真は地域あいご会の保護者が交通指導とあいさつ運動に取り組んでいる様子です。下の写真はR4.9月からおやじの会もあいさつ運動に加わって、毎月第2土曜日の朝に通学路の点検とあいさつ運動に取り組んでいます。その他民生委員の方々もあいさつ運動や見守り活動に取り組んでくださっています。(クリック)

【共通実践事項の具体的取組】

② 一家庭一家訓



基本的な生活習慣の確立や家族の一員として自覚を促す取組(お風呂掃除や食器洗いのお手伝いをする子どもの様子)

【一家庭一家訓のよさ】

- 家庭で過ごす時間を有効に使えるようになる。
- 家族各自の自主性と責任感を育てられる。
- 家族の関わりが増え、家族一人一人の役割がはっきりする。

この写真は、家庭でお皿洗いのお手伝いに取り組んでいる子供の様子です。「一家庭一家訓」は、子供に基本的な生活習慣や家族の一員としての自覚を促すための取組です。

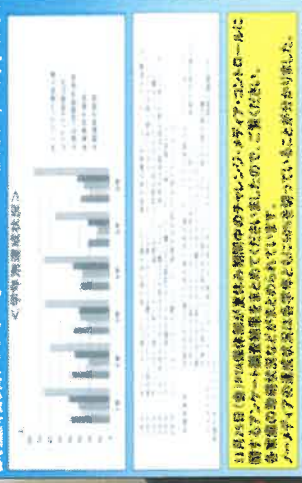
子どもたちに家庭での決まりや家庭での役割をもたせることで、下のように3つの効果が聞かれるようになってきました。

- ①家庭で過ごす時間を有効に使えるようになった。
- ②家族各自の自主性と責任感が育ってきた。
- ③家族の関わりが増えて、家族一人一人の役割がはっきりしてきました。(クリック)

【共通実践事項の具体的取組】 ③ ノーメディアタイム



【PTA活動】チャレンジ・メディア・コントロールの調査結果について 2022年11月25日



11月15日(金)のPTA保健部が実施する期間中のチャレンジ・メディア・コントロールに関するアンケート調査結果をまとめで公開いたしましたので、ご覧ください。
各年度の調査結果は各学年のホームページに掲載しています。この部分から集計しました。

テレビを消して学習に取り組んだり、時間を決めてPCで学習したりする子どもの様子

PTA保健部が呼びかけて取り組むチャレンジメディアコントロールのアンケート調査

「ノーメディアタイム」とは、子どもたちが生涯にわたって自主的・主体的にメディアを使えるようにするために、親子で話し合って家庭内ルールをつくり取り組んでいる→PTA保健部では毎年、**実施状況をGoogleフォームで把握・集計して結果をフィードバックしています。**

この写真は、家庭で「ノーメディアタイム」に取り組んでいる様子です。家庭でテレビを付けない、携帯やゲームをしない時間を決めて、その時間に勉強に取り組んだり、読書をしたり、家族で話したりする時間をつくるという取組です。このように保護者が子供がしっかりと勉強をする環境をつくり、取組の様子を見届けることがとても大切であると感じています。(クリック)

【共通実践事項の具体的取組】

③ ノーメディアタイムとの関連事業



PTAでは、「ノーメディアタイム」の取組と関連付けて市P連の「**情報モラル**」についての**標語**への**応募**に取り組むようにしています。情報モラルへの意識を高めながら、子どもたちが生涯にわたって自主的・主体的にメディアを使えるようにしていきたいと考えています。

この写真は、家庭での「ノーメディアタイム」を更に充実させ、よりよいメディアとの付き合い方ができるようにするために市P連が行っている「情報モラル」についての標語」への応募をR4年度から始めました。一人一台のタブレット端末が配備され、学校や家庭でも活用する場面が増えています。ネットトラブルに巻き込まれる場面も多くなりますので、このような標語にも取り組んで情報モラルを育成していこうと考えています。(クリック)

【共通実践事項の具体的取組】

④ 読書活動（うち読）



学校：うち読カードの掲示



家庭：うち読に取り組む子どもの様子



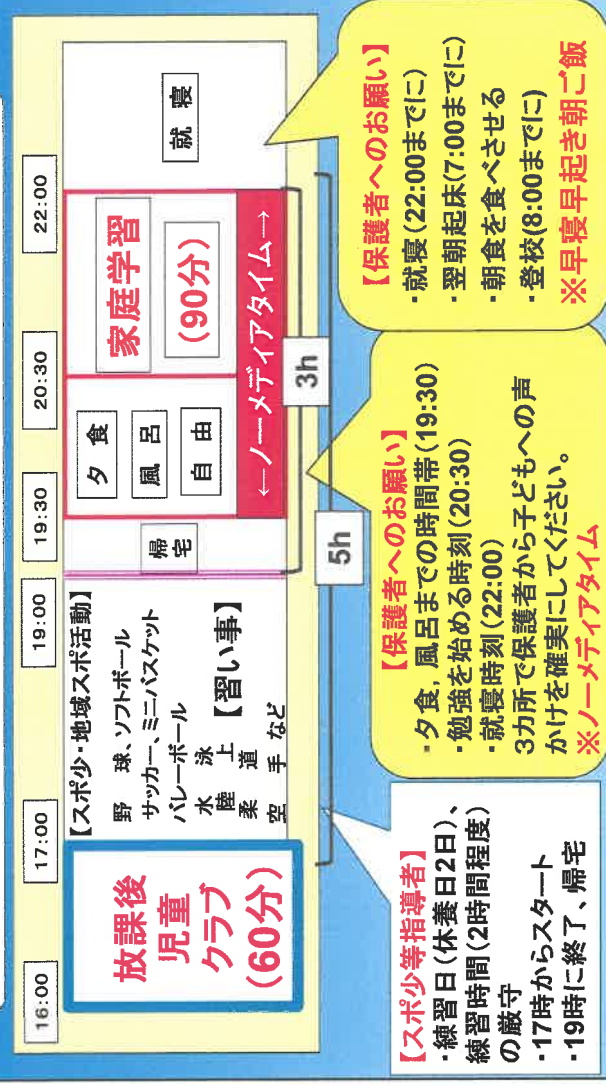
地域連携：読書ボランティアグループによる読み聞かせの活動の様子

この写真は、読書活動（うち読）の取組として学校が子どもたちに取り組みさせている「うち読カード」です。右上の写真のように家庭で読書に親しんだり、下写真のように朝の読書タイムの時間には地域読書ボランティアグループの方々「読み聞かせ」の活動をしてくださっています。読書活動の充実に向けて取り組んでいます。（クリック）

【共通実践事項の具体的取組】

⑤ 早寝早起朝ごはん

【平日にスポ活動・習い事等をしている児童生徒の場合】



これは、平日にスポーツ活動や習い事をしている児童が帰宅後にどのように過ごするかをシミュレーションしたものです。

「早寝早起朝ごはん」と「ノーメディアタイム」の取組を組み合わせながら、子どもたちの健康・体力の保持と家庭学習の習慣化を育成するために学校側で作ってくださり、保護者に示していただいています。

保護者として、どのタイミングで子どもへの声掛けをすればよいか、スポーツ少年団や地域スポーツ等の指導者へ練習終了時刻の協力のお願いをするときにも活用しています。(クリック)

「ノーメディタイム」「早寝早起朝ごはん」による効果

星峯西小学校家庭学習の目安時間

○学年×10+20分(読書除く)

1年生30分+20分 2年生40分+10分
3年生50分 4年生60分
5年生70分 6年生80分

※中1:90分 中2:100分 中3:110分



家庭学習60・90(ろくまる・きゅうまる)
運動……県P連の取組

これは、学校で設定している家庭学習の目安時間です。本校は学年×10+20分を目安に取り組んでいます(クリック)

取組結果及び成果・課題

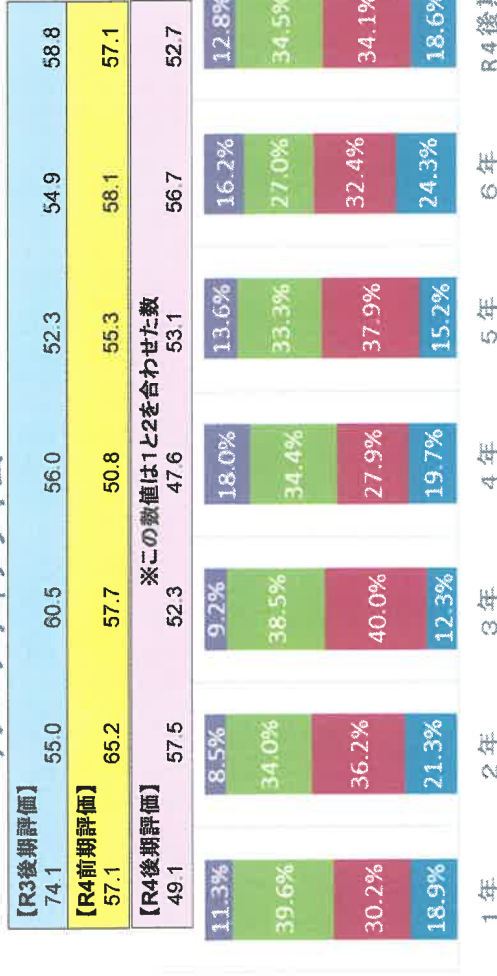
【R4後期のアンケート結果】

- ・学校評価アンケートと一緒に年2回（前期・後期）アンケートを取って取組状況を把握
- ・Googleフォームを活用して集約、結果分析
- ・アンケート結果に考察等を加えて学校HPに掲載してフィードバック

本校では、学校評価アンケートと一緒に「家庭教育力アップ共通実践事項」5項目を前期・後期の年2回アンケート調査をして把握しています。Googleフォームを使ってすべての保護者に回答してもらっています。Googleフォームだと集計の手間もいらず、グラフ化する手間もかなり削減できます。とても便利で、アンケート結果が学校HPに掲載されて、学級PTAの話し合い活動の資料として活用することができて非常に便利です。（クリック）

令和5年度前期の学校評価（保護者から）

8 家庭学習の習慣化に努めましたか。 → ノーメディアタイム

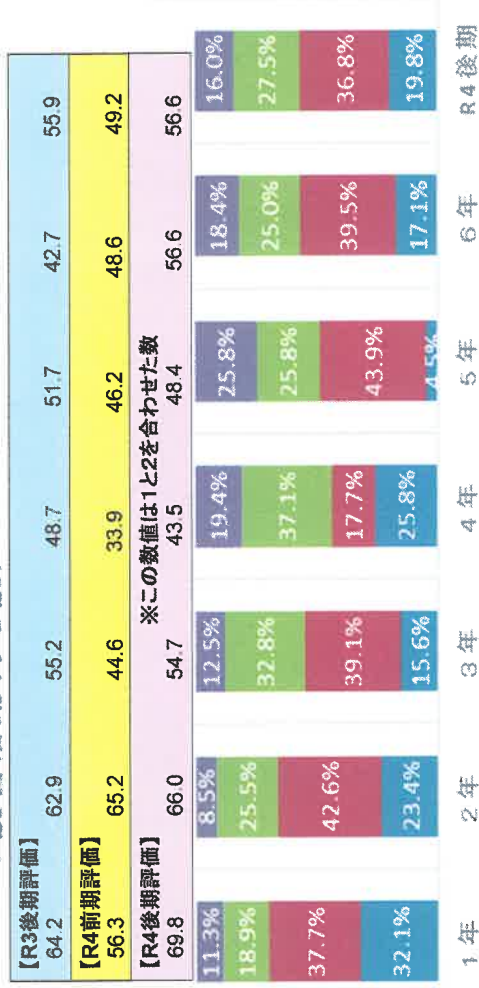


1, 2を合わせると学校全体で**52.7%**(前回比▲4.4p)。情報化社会でよりよくなり、きていくためにはデジタル機器を自分でコントロールする力を身に付けなくてはなりません。そのためには、家庭でのルールづくり、マナーなど学校と家庭が連携して継続的に取り組んでいく必要があると思います。

ここからはアンケートの結果です。大変良くできている、よくできているが**52.7%**。もう少し徹底することが必要だと分かりました(クリック)

令和5年度前期の学校評価（保護者から）

9 お子さんは、朝読み夕読みを行いましたか。
→ 読書活動（うち読）



1, 2を合わせると学校全体で**56.6%**(**前回比+7.4p**)。学校図書の出しも再開され徐々に貸し出し冊数も増えてきたことが影響していると考えられます。学校では読書タイムで読み聞かせ活動も活発に行われています。家庭でも子どもが読書のできる環境づくりの御協力をお願いします。

これは、読書活動のアンケートの結果です。こちらも**56.6%**ですのでもう少し取組の徹底が必要だと思っております。(クリック)

令和5年度前期の学校評価（保護者から）

11 お子さんは、気持ちよいあいさつや「はい」という
明るい返事をしていますか。→あいさつ運動



1, 2を合わせると学校全体で**77.8%（前回比+0.3p）**。家庭教育力アップ共通実践事項の一つです。あいさつがいつでも・どこでも・だれとでもできるようにするためには、その姿を大人が示すことが大事です。学校でも重点指導事項に掲げて指導していますが、家庭内でもぜひ実践していただければありがたいです。

これは、あいさつ運動のアンケートの結果です。こちらは77.8%なので比較的よいと思います。(クリック)

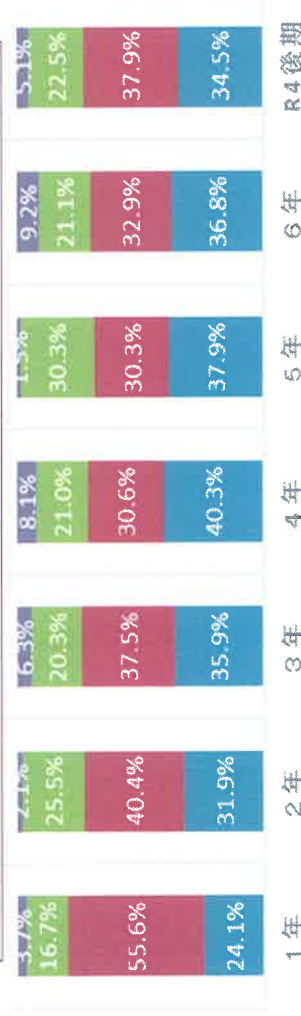
令和5年度前期の学校評価（保護者から）

12 お子さんは、家庭でお手伝いをしていますか。

→ 一家庭一家訓

【R3後期評価】	74.6	71.9	72.1	65.8	63.2	76.8	70.7
【R4前期評価】	76.5	82.6	64.6	75.8	72.3	74.3	74.4
【R4後期評価】	79.7	72.3	73.4	70.9	68.2	69.7	72.4

※この数値は1と2を合わせた数



1, 2を合わせると学校全体で**72.4%**(**前回比▲2p**)。家庭内で子どもにも家族のため役に役立つお手伝い等の役割を与えることは、子どもにとって良い経験になります。まずは家庭内で学年の発達段階に応じて少しずつ家庭内の役割を与えて実践していただければ幸いです。

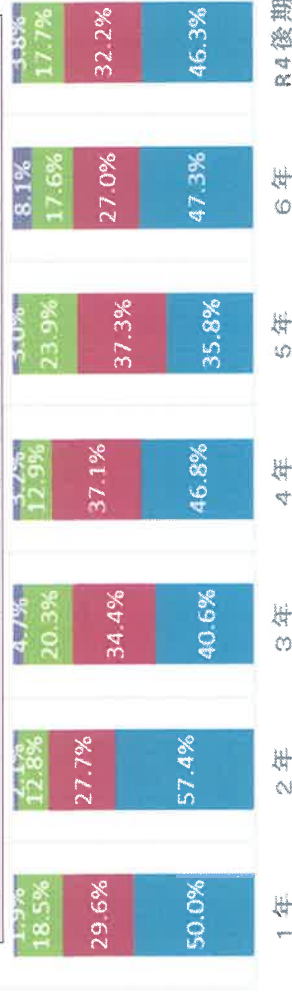
これは、一家庭一家訓のアンケートの結果です。こちらも**72.4%**で比較的よいとらえています。(クリック)

令和5年度前期の学校評価(保護者から)

14 お子さんは、「早寝早起朝ごはん」ができていますか。→早寝早起朝ごはん運動

【R3後期評価】	98.3	91.0	83.9	80.3	83.0	75.3	85.3
【R4前期評価】	92.2	91.3	82.9	81.0	80.0	81.0	84.7
【R4後期評価】	89.6	85.1	75.0	83.9	73.1	74.3	78.5

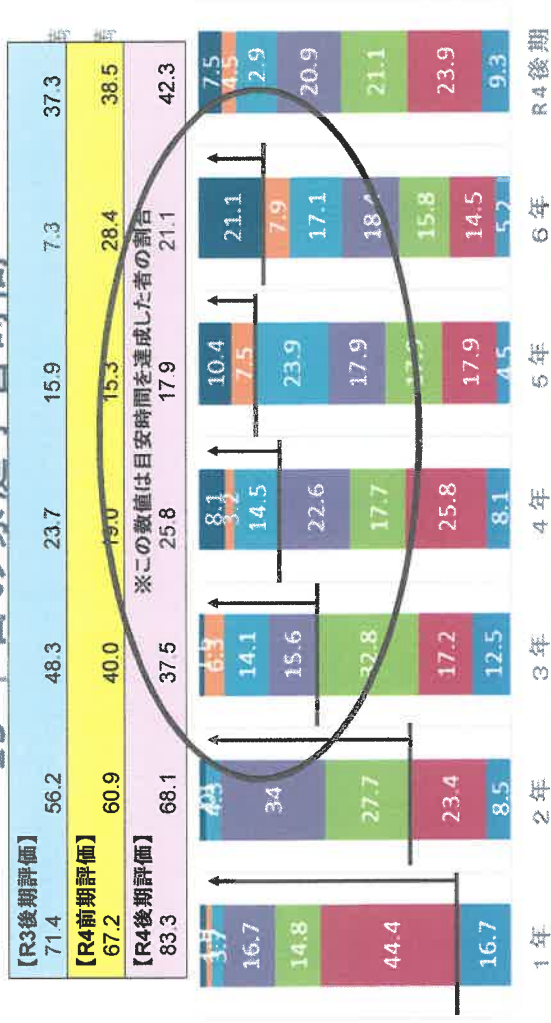
※この数値は1と2を合わせた数



1, 2を合わせると学校全体で**78.5% (前回比▲6.2p)**。たいへんよい、よいが減少傾向にあります。就寝・起床時刻を親子で話し合っ決めて早寝早起朝ごはんの習慣を身に付けることは、子どもの健康や学習にもよい影響を与えています。朝型の生活リズムを保護者もぜひ取り組んでいただければ幸いです。

これは、早寝早起朝ごはんのアンケートの結果です。78.5%(クリック)

15 平日の家庭学習時間



【本校の家庭学習の目安時間】 学年×10+20分(読書時間除く)となっています。

1年生:30分、2年生:40分、3年生:50分、4年生:60分、5年生:70分、6年生:80分

各学年で横線を引いた部分より上部分が家庭学習目安時間を達成したところに当たります。学年が上がるにつれて目安時間を達成している児童の割合が少なくなっています。本校の子どもたちの学力は市・県・全国平均を上回っている一方で、家庭学習時間は、県・全国平均と比較して同程度か、やや少ない結果が出ています。家庭学習時間が更に確保されると伸びる可能性があります。

これは、家庭学習時間のアンケートの結果です。中、高学年になるにつれて目安時間に届かない子どもたちが増えてくることが分かります。(クリック)

【今年度PTA活動の成果と課題】

【成果】

〇コロナの影響により計画されたイベントが思うように実施できない状況が続いたが、その一方でデジタル化により業務の効率化、簡素が進められ、学校、家庭、地域が互いに連携し、共通理解の下に組織を挙げて取組を行うことができた。

〇PTA活動についての参画意識が高まり、家庭教育に対する保護者の意識が高まってきたことが、子どもの姿となって表れ始めている。

【課題】

- ▲コロナ禍においてもこれまでの取組をより一層充実させるために各組織が役割や課題点を明確にして次年度のPTA活動方針や各部年間活動計画の策定に向けて改善策を盛り込みながら取り組んでいく必要がある。
- ▲家庭教育の充実に向けて学校主導から保護者が主体となった取組として活動を推進できるようにしていく必要がある。

これが、成果と課題です。

特に今後の課題として2つあります。

一つ目は、毎年毎年の成果と課題を明らかにしながら、改善策を盛り込みながら積み重ねていくこと。

二つ目は、これまでどちからかという学校主導になっていた部分を、これからは少しずつ保護者が主体となって取り組んでいければと思います。

以上で、星峯西小学校PTA活動の研究発表を終わります。
ご静聴ありがとうございました。(クリック)

(クリック)